自然と人間の共生

①

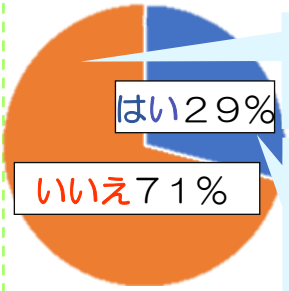
福岡県立京都高等学校　福島拓実　真面尚規　香月爽希　尾潟未祐　太田歩乃加

はじめに

◎第一次産業の役割

森	里	海
林業・手入れ （利益目的＋森としての役割を維持）	農業・土の栄養を維持 （食料確保＋生物の生息地を維持）	漁業・漁港の整備 （食料＋魚の住処の清潔を維持）

◎京都生へのアンケート（Q．第一次産業に興味があるか？）



対象：京都高校1、2年生　５１５名

いいえの理由
- 収入が少ない
- 重労働できつそう

はいの理由
- 海や山など自然が好き
- ＳＧＨなどの活動で自然とのつながりを知った

第一次産業の役割を知らずに敬遠

第一次産業の衰退の一因！

◎第一次産業就業人口の減少
⇒自然を手入れする人の減少
⇒第一次産業の役割の放棄
⇒耕作放棄地、放置森林、漁港の汚染が広がる

きっかけがあった！

自分の行動と自然とのつながりを認知している人を増やすために
カードゲームの作成

方法

- 文献調査　・インタビュー調査（九州産業大学）　・カードゲーム作成　・デモンストレーション（京都高校二年生１５名対象）

調査結果

（九州産業大学：一ノ瀬先生によるＳＤＧｓカードゲーム、神経衰弱ゲーム　参考）

Economy＆Environment ゲーム

◎カードゲームの目的

①カードゲームを通して子どもたちに自然に興味をもってもらい、地元の環境や経済について知ってもらうこと。

②今までの行動を見直し、これから自然に対してどのような行動をとるべきなのか考えてもらうこと。

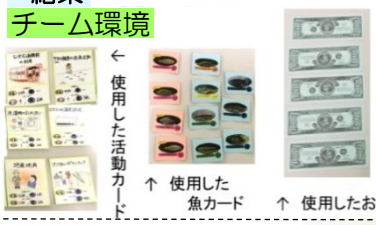
③第一次産業について正しい理解をしてもらい、第一次産業の活性化につなげること。

カードゲームの説明⇒ポスター②へ！

◎京都生 15 人で実践！

- 結果

チーム環境



← 使用した活動カード
↑ 使用した魚カード
↑ 使用したお金

お金　4枚

魚　39点

～終了時～

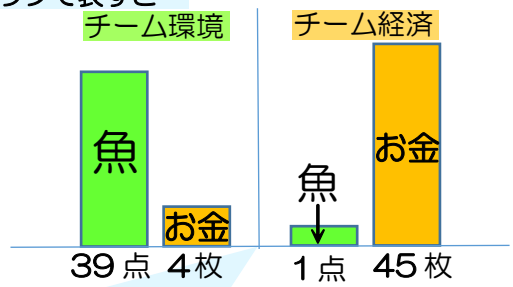
チーム経済

↑ 使用した活動カード　使用した魚カード ↑

お金　45枚

魚（外来種）　1点

- グラフで表すと…



ゲーム結果は私たちの想定通りの結果となった。しかもチーム経済の魚はたったの 1 点で外来種の魚が残った。

- 参加者の感想

- 環境と経済、どちらも大切にしなければならないと感じた。・自分たちの営みが自然に影響を与えていると分かった。
- 自分の利益に走らず、自然と共存して生活することを考えないといけないと思った。

人間の行動と自然とのつながりを考えてもらうことができた
⇒これからの行動を考えてもらうきっかけづくりに成功！

今後の課題

- カードゲームは京都高校二年生による実践段階にしか至ってない→実際に小・中学生の各年代に対応したカードに改良する
- 活動カードをもっと第一次産業の役割がわかるように改善する

Economy＆Environment ゲーム

◎ゲームの仕組み

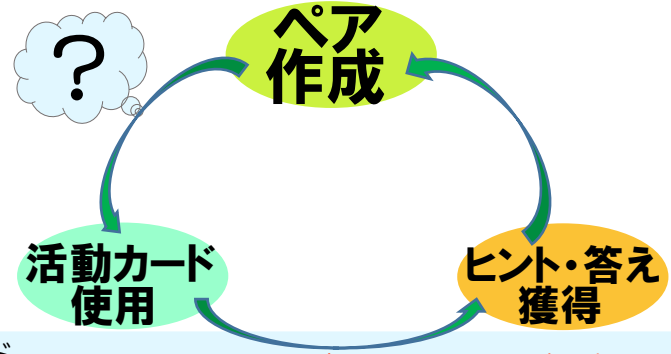
①２班に分かれる

グループ①　グループ②

②それぞれのグループで
２枚１組のペア作成

- ペアカード 20 組
- 活動カード６枚
- 得点付き魚カード 20 点分
- お金カード 10 枚

を各グループ配布



・お金カード

活動カード使用時に使う
（経済を抽象的に表す）

・魚カード

- 福岡にいる在来種
- 外来種の２種類

点数は生息する水環境を示す
（環境を抽象的に表す）

・２枚１組のペアカード

人間の活動：林業の高齢化 ⇔ ペア ⇔ 第一次産業の問題：放置森林の増加

人間の活動：北九州エコタウン ⇔ ペア ⇔ 環境への影響：工業排気ガスの減少

ペアカードの種類

- 「第一次産業の衰退が起こす環境への影響」のペア
- 「環境の改善に影響を与える活動」のペア

正しいペアをより多く集めてもらう

目的

- 第一次産業の問題の原因を知ってもらうこと
- 参加者の地元について知ってもらうこと

・活動カード

☆ペア作成をする際にペアが分からない時に使用！

経済活動カード　環境活動カード

お金 100 魚 15 点 消費 → 答え２つ お金 180 ゲット

お金 400 消費 → ヒント１つ 魚３点 ゲット

～活動カードの意味～

土地の埋め立てによって経済的には発展する

多くの魚が住処を失う

自然がきれいになって魚が増える

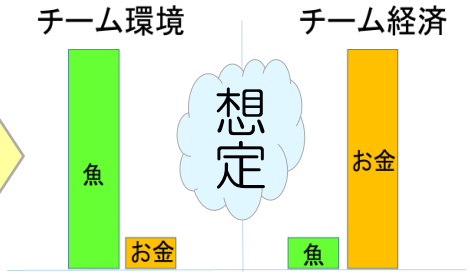
ごみ拾いボランティアの開催費用がかかる

人間が行う具体的な経済活動　　人間が行う具体的な環境活動

仕掛け！

チーム環境 → グループ①
環境に特化したカードを配布して環境指標ばかりを上昇させる

チーム経済 → グループ②
経済に特化したカードを配布して経済指標ばかりを上昇させる

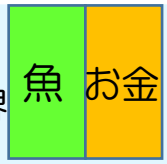


③ゲーム終了後ネタバラシ

人間にとって住みやすい世界は？生物にとって住みやすい世界は？

人間も生物も住みやすい世界はどんな世界？

住みやすい世界とはバランスの取れた世界



魚やお金の増減を可視化させることによって人間の何気ない行動が自然とつながっていることに気づく⇒**自分の行動を見直すきっかけに！**